

## 技術の確認

	評価 1: できない 2: もう少し努力が必要 3: (ほぼ) できる	改善したらよいと思う点
1 手順に従って、調剤を行うことができる		
2 マニュアルに従って、処方発行、調剤、窓口業務、アンプルピッカーができる		
3 十分な速さと正確さをもって、計数調剤ができる		
4 電子カルテを使って、薬歴、身長・体重、検査値を確認することができる		
5 疑義照会をし、必要に応じて代替薬の提案ができる		
6 当院選定のハイリスク薬について、注意事項を述べるができる		
7 電話対応について、相手の質問に対処ができる		
8 処方傾向、頻度を把握し、適切な在庫管理ができる		
9 再発行、処方鑑査画面の解除ができる		

## 知識の確認

	評価 1: できない 2: もう少し努力が必要 3: (ほぼ) できる	改善したらよいと思う点
10 当院採用薬、その規格、形態を把握している		
11 当院採用薬の用量、用法、適応症を述べるができる		
12 当院採用薬の主な副作用を述べるができる		
13 病名に対する禁忌薬を述べるができる		
例 ベンゾジアゼピン系薬剤x重症筋無力症、ジプレキサx糖尿病 etc.		
14 併用に注意が必要な組み合わせの処方例を述べるができる		
例 クラビットx鉄剤 etc.、HMG還元酵素阻害薬xフィブラート系薬 etc.		
15 併用禁忌の処方例を述べるができる		
例 プログラフ x CyA製剤、セララ x K製剤 etc.		
16 配合変化、希釈液が限定されている処方例を述べるができる		
例 アムビゾームの希釈液は蒸留水 etc.		
17 流速に注意が必要な薬剤について述べるができる		
例 K製剤やGEM etc.		
18 診療科限定で処方が限定されている薬剤について述べるができる		
例 イノバン、ドブポン etc.		
19 適応外使用について理解している		
20 診療科ごとの処方傾向を把握できている		
21 基本的な疾患について薬物療法を勉強している		
22 説明書の添付が必要な薬剤を把握している、説明書の内容を理解している		

## 安全管理の意識の確認

	評価 1: できない 2: もう少し努力が必要 3: (ほぼ) できる	改善したらよいと思う点
23 調剤間違いを犯しやすい事例を述べるができる		
24 外観が類似した薬剤を述べるができる		
25 名称が類似した薬剤を述べるができる		

## その他

	評価 1: できない 2: もう少し努力が必要 3: (ほぼ) できる	改善したらよいと思う点
26 管理室の業務を把握している(1日単位、1週間単位、1ヶ月単位)		
27 他の人の働きを気を配り、カバーすることができる		
28 管理室全体の様子を把握し、室員に業務指示が出せる		
29 アンプルピッカーのトラブルに対応できる		
30 他部署(薬剤部内、医事課、病棟、外来)との連携・業務を理解している		